

有明工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	体育実技	
科目基礎情報							
科目番号	0095		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		後期:1		
教科書/教材	イラストでみる最新スポーツルール (大修館書店)						
担当教員	井上 仁志						
到達目標							
1.生涯を通して運動に親しむ態度を育て、各運動に必要な技能の習得及び 体力の向上を図 ることが できる 2.ネット型の球技でサーブ やラリーが できる 3.ターゲット型の球技で意図したところに打つことが できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	「生涯スポーツ」という考え方を理解し、たくさんのスポーツに積極的に参加することが できる		「生涯スポーツ」という考え方を理解し、社会人になっても健康的に過ごせるよう積極的にスポーツに親しむことが できる		「生涯スポーツ」という考え方を理解できず、スポーツに積極的に親しむことが できない		
評価項目2	ネット型の球技のルールを理解し、基本的なフ レーの応用が できる		ネット型の球技のルールを理解し、基本的 なフ レーが できる		ネット型の球技のルールが 理解できず、基本的なフ レーが できない		
評価項目3	ターゲット型の球技の ルールを理解し、基本的なフ レーが できる		ターゲット型の球技 のルールを理解し、10m 程度で あれば意図したところに打つ ことが できる		ターゲット型の球技 のルールを理解できず、10m 程度で あっても意図したところに打つことが できない		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1							
教育方法等							
概要	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜び の実感、運動に必要な技能の習得及び 体力の向上を図る。主体的に運動に取り組む姿勢や、生涯を通して運動に親しむ態度を育て、各運動に必要な技能の習得及び 体力の向上を図ることが できる						
授業の進め方・方法	実技中心に進める 実技テスト、ルールテスト有り						
注意点	実技テスト評価 20%、ルールテスト評価 60%、ポートフォリオ20%で 総合評価とする						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラハ ス説明		シラハ スの内容を説明で できる		
		2週	新体力テスト、 集団行動		自分の現在の体力を確認で できる、号令に合わせて (集団で)行進や方向転換など が できる		
		3週	新体力テスト、 集団行動		自分の現在の体力を確認で できる、号令に合わせて (集団で)行進や方向転換など が できる		
		4週	ゴ ルフ(雨天時卓球)		アフ ローチ等を意図したところに落とせる		
		5週	ゴ ルフ(雨天時卓球)		アフ ローチ等を意図したところに落とせる		
		6週	実技テスト				
		7週	卓球(雨天時に卓球をしていた場合は晴天時ゴ ルフ)		ダ ブ ルスで 試合が できる		
		8週	卓球(雨天時に卓球をしていた場合は晴天時ゴ ルフ)		ダ ブ ルスで 試合が できる		
	4thQ	9週	実技テスト				
		10週	テニス(雨天時バ ト ミントン)		ラリーからボレーや スマッシュなど を打つことが できる		
		11週	テニス(雨天時バ ト ミントン)		ラリーからボレーや スマッシュなど を打つことが できる		
		12週	実技テスト				
		13週	バ ト ミントン(雨天時にバドミントンをしていた場合は晴天時ゴ テニス)		ハイクリア、クリア、 ト ロップ と打ち分けることが できる		
		14週	バ ト ミントン(雨天時にバドミントンをしていた場合は晴天時ゴ テニス)		ハイクリア、クリア、 ト ロップ と打ち分けることが できる		
		15週	実技テスト				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0